

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT



水海道ロータリークラブ

本年度クラブテーマ

ENJOY ROTARY

SERVICE Above Self

2005-06 年度 国際ロータリー会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

例会予定

12月7日
前期委員会事業報告

12月14日
振替休会(忘年会)

12月21日
外部卓話 本間三和子様

12月28日
休会 定款第5条第1節

11月はロータリー財団月間です

VOL. 43 No.19 (通算No.2059)

2005年11月30日(水)例会プログラム

点鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
卓話
仲津真治様



財団法人中央義士会理事長 中島康夫様

2005～2006年度 会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* 外部卓話

財団法人中央義士会理事長 中島康夫様



ピジター

財団法人中央義士会理事長 中島康夫様

誕生祝

会員 田上秀雄会員

幹事報告 (熊谷 昇幹事)

週報受理 石岡87RC

例会変更通知受理 龍ヶ崎中央RC 11月18日(金)午後6時30分よりやぐち
12月16日(金)午後7時より ホテル日航ウインズ成田

会長挨拶 (青木清人会長)



皆様、こんにちは。

今日は、ゲストスピーカーに財団法人中央義士会理事長 中島康夫様に起こし頂きました。お馴染みの忠臣蔵についてお話していただく事になっておりますが、今日まで日本人好みのこのお話は、芝居に映画に、年末のTVドラマにと語り継がれています。日本人の心の構造そのものかもしれません。楽しみにしております。

さて、水海道HPの談話室にも投稿させて頂きましたが、地区より送られてきました10月31日付け米山寄付総合表によりますと、水海道クラブ一人当たり平均寄

付額が地区NO.1に輝いています。

金額は、28,166円です。二位が土浦RCの28,142円、僅か24円の差で一位になりました。田上委員長の強力な集金力と皆様方のご協力の賜と思えます。深く感謝申し上げます。

14日の月曜日に、海老原会員のお嬢様 章子さんが亡くなられましたが、2003年8月にはオーストラリア ツウンバへ交換学生で行っておられ、活発で将来のあるお嬢様を亡くされ、海老原会員の心情を察すれば申し上げる言葉もありません。痛恨の極みかと思えます。クラブとしてもご冥福をお祈りしたいと思います。

外部卓話 『松之廊下』 財団法人中央義士会理事長 中島康夫様



プロフィール 昭和16年生まれ 64歳

講演テーマ 「大石内蔵助のリーダーシップ」「女たちの忠臣蔵」「刃傷松之廊下」他

主な著書 「忠臣蔵の謎額」「元禄四十七士の光と影」「討ち入りを支えた八人の証言」「忠臣蔵四十七士義士全名鑑」

元禄十四(1701)年の元旦は日蝕がありました。当時の人々は太陽が掛けていくと信じ、不吉なことが起こる前触れと恐れおののいておりました。ほうぼうの寺院や神社では、正月早々から祈祷が盛んに行われました。そんな年の二月に、幕府は浅野内匠頭長矩に勅使饗応役、伊予吉田領主で宇和島藩分家の伊達左京亮宗春に院使饗応役を命じました。饗応役に選ばれた大名は、自分のお金で総てを賄わなければなりません。そのうえ、礼儀作法を正しく行わなければなりません。公家社会は、武家社会と



違って細かい作法がいろいろありました。そのため、幕府では、礼儀作法に詳しい公家衆という人々を置いており、その筆頭が吉良上野介義央という人でした。十七年前にかかった費用は四百五十両、昨年は千二百両かかったということで、十七年前と昨年の間をとって七百両ぐらいでよかろうということになりました。

ところが月番指南役の上野介はそれには不満でした。

朝廷と幕府の橋渡しをしている関係上、勅使・院使をできるだけ手厚くもてなし、自分にも多くの賄賂をして貰いたかったのです。ところが内匠頭は曲がった事がきらいでしたので、なかなか頭をさげません。そのため上野介は内匠頭に対して、いろいろ意地悪をするようになりました。

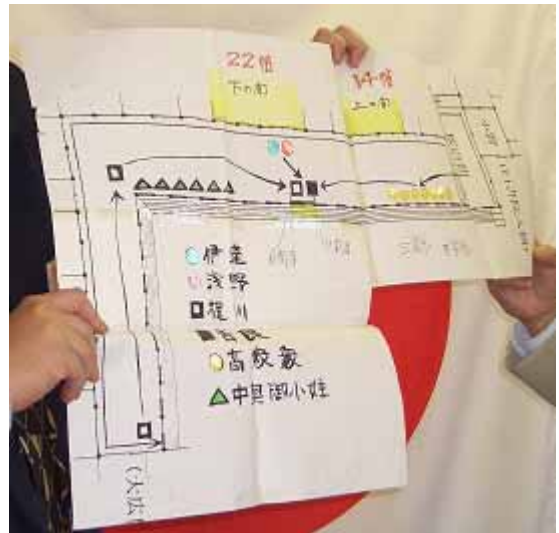
三月十一日に勅使方が江戸に入られ、十二日、十三日と催しが予定どおり進んでいきました。

ところが三月十四日、殿中で刃傷事件が起きてしまったのです。

この日は、将軍が殿中の白書院において勅使・院使と対面する予定でした。饗応役の浅野、伊達らは勅使方を迎えるため白書院近くの松之廊下に正座しておりました。

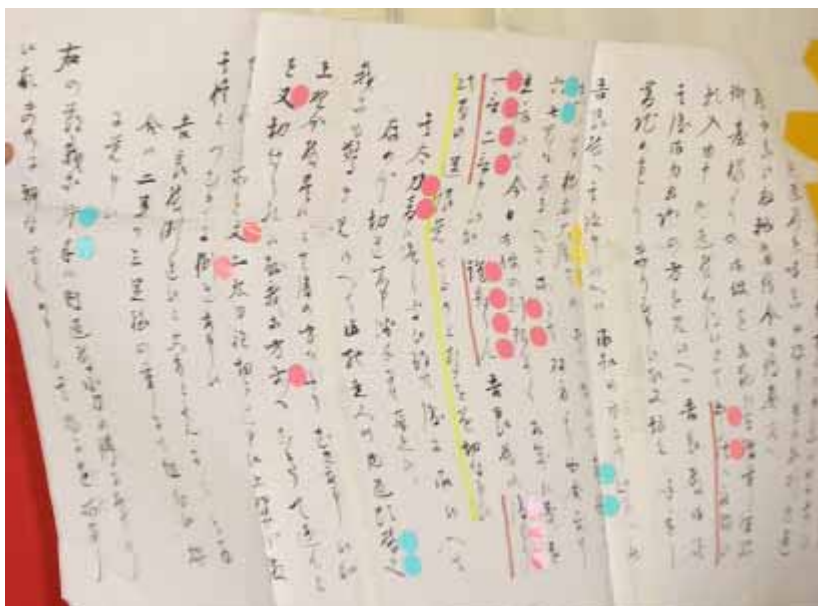
そこへ将軍の母上のお使いで梶川與惣兵衛が上野介を探しに松之廊下へやってきました。二人が言葉を交わし始めると、上野介は一回転して公家衆に向かい、内匠頭の悪口を言い始めました。「田舎者にたのんでも、勅使方にご迷惑をかけることになるよ」など、傍らに座っている内匠頭や、居合わせた公家衆にも聞こえるように言い放ったのです。

それを聞いた内匠頭は顔色を変え立ち上がり「上野介！この間の遺恨覚えたか！」と叫んで小さな刀を



抜き上野介の顔に切りつけました。上野介の烏帽子の縁に当たったため傷は浅く、上野介は逃げようとして後ろ向きになったところを、こんどは背中を斬られました。

おどろいた梶川與惣兵衛は浅野内匠頭をうしろから抱きかかえ畳に押さえつけてしまいました。内匠頭は、「もう一太刀」「もう一太刀」と梶川與惣兵衛にお願いしましたが、與惣兵衛は放そうとませんでした。内匠頭は無念な思いで一杯でした。

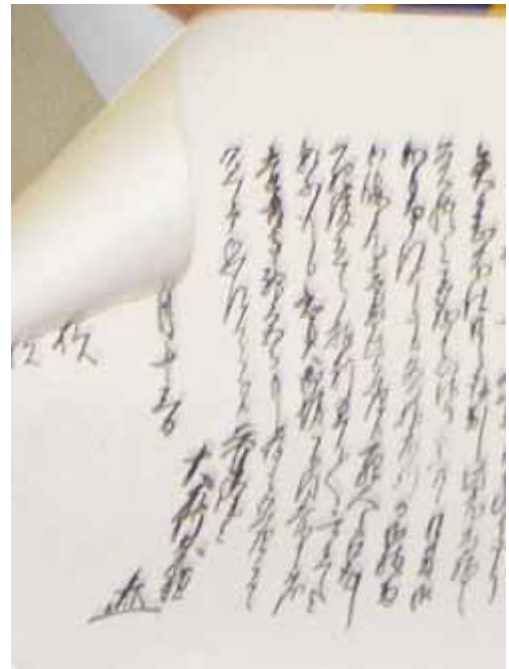


しかし目の前に憎むべき相手がいなくなり、諦めざるを得ませんでした。だんだん気持ちは冷静になりましたが、吉良上野介を討ちました無念さだけが残りました。

松之廊下での刃傷を柳沢出羽守保明より報告を受けた將軍綱吉は激怒し、内匠頭を奥羽一ノ関の藩主田村右京大夫建顕に預け、さらに切腹を申し付けました。

そして赤穂浅野家を断絶させたのです。

封建時代では「喧嘩両成敗」というのが定着していましたので、喧嘩した両者は理非を問わず罰せられるのが常識でした。しかしこの場合、斬られた上野介は何のお咎めもありませんでしたので、片落ちの判決でした。



出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク
50名	34名	16名	0名	8名

出席率 84.00%

ニコニコボックス (石塚克己SAA)

- 誕生祝御礼 会員 田上会員
- 海老原会員のお嬢様のご逝去、心よりご冥福をお祈り申し上げます。 青木(清)会員
- 茨城県社会福祉協議会会長の表彰を受けました。 鈴木(邦)会員
- 11月10日第8分区チャリティコンペ参加してきました。楽しく苦しいプレイでした。また本日中島先生卓話を宜しく願います。 熊谷会員
- 先週は家内の目の手術で欠席させて頂きました。お蔭様で術後の回復も順調です。 橋本会員
- 寒くなりました。風邪などひかぬように。 青木(正)会員
- 皆様お元気ですか？私も元気です。 松村会員
- 褒められました。 山崎・瀬戸 各会員
- 例会欠席しました。 田上・松崎・福田・瀬戸 各会員
- 早退します。 石塚(克)・瀬戸 各会員

入金計 ¥31,000 累計 ¥1,062,000

ロータリー情報委員会より 一口メモ

ロータリー国際親善奨学金: 国際親善奨学金プログラムは、民間の留学プログラムとしては、世界最大のものである。ロータリークラブの所在する他国で勉強または研修を受けるために奨学金が授与される。勉学期間中、ロータリー奨学生は留学先の国で親善大使を務める。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫